


活動名		ストーンアート			
概要	○石を観察し、作品のイメージをわかせて、その石に絵の具で色をぬって、思い思いの作品をつくる。				
ねらい	○身近にある物で作品を作る喜びに気づく。 ○石の特徴から作品のイメージをわかせることで、創造力を養う。 ○アクリル絵の具の取り扱いを学ぶ。				
関連教科等	図画工作・理科・社会・総合				
指導形態	「職員は活動の説明のみ行う」、「職員が指導を行うことが可能」				
時期	通年	時間帯	日中	対象	幼児～
場所	創作棟	人数	～70人/1部屋	所要時間	2～3時間
準備物	施設で準備できるもの		団体・個人で準備するもの		
	石、アクリル絵の具、筆、筆用割りばし、水入れ、紙皿、ドライヤー、新聞紙、雑巾		汚れてもいい服（必要に応じて）		
<b>進め方・展開例</b>					
	内容			留意点	
活動前	○事務室で打ち合わせを行う。 ・ねらいの確認 ・人数、材料の数、活動の進め方			○職員からの指導が活動の説明のみの場合は、活動の進め方や安全面、片づけ等について十分確認する。	
活動の説明	○作成手順を理解する。 ○色のぬっていない石を見る。 ○例となる作品を見てイメージをつくる。			○色のぬっていない石がどんなものに見えるかを創造させるとよい。	
展開	○手順に沿って、作品をつくる。 ①石をよく観察して、選ぶ。 ②使う道具を準備する。（新聞紙、絵の具、筆、水入れ、紙皿、ドライヤー等） ③絵の具を必要な量だけ出す。  ④石に色をぬっては乾かし、ぬっては乾かしを繰り返して、作品をつくる。			○絵の具を出し過ぎないように注意する。 ○アクリル絵の具は乾くと色が落ちないので、衣服につかないよう注意する。 ○全体的な色→細かい部分の色の順でぬる。 ○色を重ねぬりする場合は必ず一度乾かしてからぬる。（ドライヤーを使用するとよい）	
まとめ	○片づけをする。 ○お互いの作品を発表し合い、よさを認め合う。				
評価	○石の特徴を生かした作品ができているか。 ○石に描くという喜びを味わうことができているか。				
発展	○実際に河川敷等に、石を取りにいったからの創作活動とすれば、身近な自然物への興味の高まりや喜びも増え、より効果的な活動となる。				